

SSKA 東腎協

93年1月25日

No. 96

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒171 豊島区

郵便振替口座

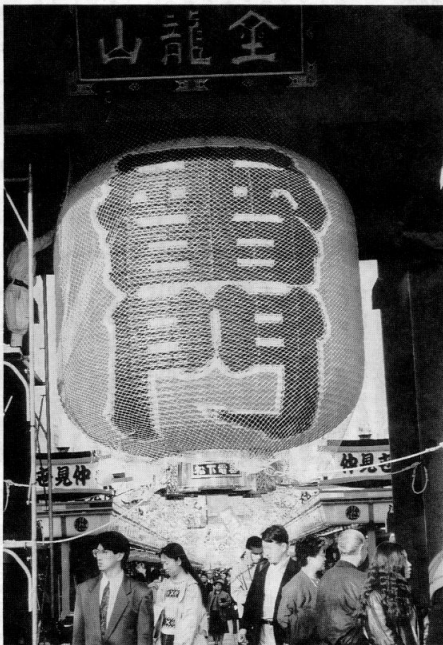
☎ FAX

昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可
一〇五三号（毎月六日発行）
SSKA増刊通巻二〇五三号（毎月六日発行）
一九九三年一月十三日発行

- 広がる移植推進の輪…………… 4
- 「国連・障害者10年」の終りに当たって…………… 7
- スタッフ訪問④…………… 8
- 体験的5分間クッキング…………… 9

● おもな記事 ●

- 会員さん訪問（48）篠原栄一さん…………… 12
- 透析医療をめぐる情勢…………… 14
- 20周年記念祝賀パーティー…………… 22
- 私のふるさと⑤ 石川みさ…………… 23



雷門の大ちょうちん（写真・本間正良）

初夢のことを書いてみようと思いましたが、あまりに、荒唐無稽で女のたわごとと笑われてしまいそうです。

ずばり、地球全体の刀狩りです。地球規模での豊臣秀吉が出てきて行っているかどうか、夢なので、定かではないのですが、とにかく、殺し合いは止んでいるようでした。夢の中だけです。

もうこの星の上で、人間の血を流すのは止めてほしいと思うのは女だけではないと思います。いつも、透析を受けながら、回路の中を流れていく血液を見つめて、私たちは生きるためにこの医療を受けているのに、世界中では悲しいことに、一度流出したら、二度と生命を支えることのできない貴重な血がなんと空しく、この大地に吸いこまれていくことでしよう。

今は、遠いカンボジア、そしてはるかかなたのボスニア・ヘルツェゴビナ・セルビアですし、ソマリアとなるどころかしらと思う人も多いかもしれません。けれど、先日、チラツと、日本でも戦闘機を製造などと、検査の記事の見出しを見かけましたから、そのうちすぐ、お尻に火がつくのではない

リレー・エッセイ

透析患者・平和の初夢

東腎協副会長 木村 妙子



でしようか。

商品は消費されなければ製造会社は利益を得ることはできませんから、武器を作ったなら、使われなければ会社は困ることになりますね。社員も路頭に迷ってしまいますし！とか言う理屈で武器を使うことを正当化するテーマを見つけ、戦争を起こすのです。さあ、そろなったら大変です。私たち、弱い透析患者はどうなるのでしょうか。運命やいかに。

さて、初夢は一つだけでなく、お三ヶ日、見てもいいものものですが、二日めは好きなものばかり、まわりに溢れている夢を見ました。花ならば金木犀の香り、華やかな白牡丹、一夜限りの月下美人と、季節も問わず咲き乱れて、夢でなければあり得ない情景です。

花だけではありません。真珠のイヤリング、漆絵のベトナム娘、小さな三彩の焼物の魚、手作りの香合、気入りの手毬模様の湯呑みなどなど、身近になんと愛するものがたくさんあるのでしょうか。

食べ物となったら透析患者の常で際限がないくらいです。関山の樺寿司、魚久の柏漬、清月堂のケ

ーキ、自分の家の味噌漬や白菜漬(薄塩仕立てです)、もう、きりがありませんね、涎が出てきそうなのでやめましょう。

少しは文化的なことに触れないと馬鹿女と思われるといけませんので、宮澤賢治の雨ニモ、マケズを読む時、胸がジーンとしませんか。友人から贈られた「大江光の音楽」というCDを聞くと涙が出てきます。

今年は、以前、種子をばらまいておいた方面が、まだ二十センチくらいの丈なのに知らぬ間に赤い実をつけました。本当にかわいい木なのです。こうして考えると、なんと呑気な話をしていることでしょうか。でも、このようなくらいなものでも、このようなくらい。一國平和主義のどことが悪いのでしょうか。そりや、世界中が平和になれば、そんなうれしいことはありません。

でも、平和を守ると称して日本人が外国人を殺したり、殺されたりするのはどうしても納得できません。初夢の話ですから、聞き流していただきたいのですが、透析患者は平和でなければ存在できない立場なのではないでしょうか。

〈新年挨拶〉



東腎協会長 泉山 知威

明けまして

お目出度うございます

お陰様で東腎協も、結成二十年を過ぎまして、新たな新年を迎えることができました。平成四年

新年あけまして

おめでとうございます

昨年は、東腎協の二十周年記念事業にご協力をいただきました。ありがとうございます。会員



〈年頭所感〉

東腎協事務局長 森 義昭

度は、二十周年記念の年度としまして、様々な計画が成功裏に終えることができました。これも会員・家族の皆様や、多くのご支援をくださる皆様のお陰と厚く御礼を申し上げます。東腎協の結成は、全腎協の方針である「県単位の組織化」にもとづくものでありましたが、東京在任の腎臓病患者による「自分たちの手による以前の活動」としまして、素朴に作り上

げられてきたものです。医療・福祉制度についても、研究しながら、試行錯誤をしつつ、自分たちの要求や目標を定めて活動を続けてきました。幸いにも「腎疾患総合対策」は、行政とも意見を同じくするところで、現在の腎臓病対策としての、各種の制度を確立するに至っているわけであります。お陰様で今では「希望すれば、誰でも原則として、自己負担もなく、透析を受けられる」状況になっております。

ただけではなく、腎臓病の早期発見・早期治療や腎臓移植から社会復帰までも含めた対策が実施されております。しかし、この数年は景気下降にともない国の財政も困窮しており、医療や福祉については厳しい状況が続くものと思えます。私たちは病院腎友会・東腎協・全腎協に結集しまして、力を合わせて腎臓病患者のために、国民のため、国民のために声を出していきたいと思えます。今年も一年間ともに頑張ってゆきましょう。

実態調査」の集計と「患者会がくくった腎臓病の本」の作成が残っていますが、これも、完成を目指して鋭意作業を進めております。

この辺が日本の経済優先政治の限界かな、という気がします。

昨年には不況の嵐が日本を吹き荒れました。来年度の国や都の予算も厳しさを増しています。こうした時代は、景気対策との名目で建設関係予算が最優先され、福祉関係予算は切り詰められるのが常です。「生活大国」はお題目だけ。

東腎協の今年の状況はどうでしょうか。昨年は二十周年事業が中心の活動になったために、要介護者の対策や、また、昨年の「福祉八法」の改正で、福祉の基礎が区市町村におかれることとなり、それに対応できる体制づくりなど、重要な課題が山積みされています。また、組織的にも、厳しい状況を迎えています。昨年新たに四つの会が東腎協に入会した一方で、逆に四つの患者会が休会や解散な

どに追い込まれています。いま、各患者会とも役員不足が共通の、そして深刻な問題となっています。東腎協は会員一人ひとりのものです。一人ひとりがやらなければならぬ活動や、役員が代表して活動しているだけなのです。

今こそ、私たちがおかれている現状をよく学び、「一人ひとりが活動家」の意識を持つようではありませんか。そして、自分たちの「命の若」を守っていきましょう。今年もどうぞよろしく願っています。

広がる移植推進の輪

腎臓・角膜及び骨髄移植推進キャンペーン



東腎協の腎臓キャンペーンではいつも司会を引き受けていただいている松村満美子さん（左）と歌手の西野妙子さんとの腎臓病の知識普及のトーク

昨年、東京都、東京都医師会、東腎協、腎臓移植普及会、ライオンズクラブなどの共催により、腎臓、角膜及び骨髄移植推進キャンペーンが、昨年十月十八日、上野公園と小金井公園の二カ所で開催されました。昨年からの新たに骨髄移植推進も加わり、移植推進の輪がひろがりました。

〈上野会場〉

つぎつぎと腎バンク

へ登録

腎臓、角膜及び骨髄移植推進キャンペーンの上野公園会場には、会員百四十四人が参加して開催されました。

昨年のキャンペーンは、台風の雨で中止になりましたが、今年は絶好の天気です。午前十時すぎから配布するチラシと粗品の準備を始めました。チラシは腎バンクとアイバンクに、今年から一緒に運動をすることになった骨髄バンクのパンフレットです。粗品はキャンペーンの文字入りのタオルとジャンプの旅行用セットでした。チラシと粗品を渡しやすいようにビニール袋に入れて、四百五十個を作り、準備完了です。

午後のセレモニーに先立って東京都の要請でチラシの一部をキャンペーンガールの応援で事前配布しました。

一時から松村満美子さんの司会で、セレモニーの開始です。主催者あいさつでは、泉山会長が、透析を受けている患者の立場から、



つぎつぎと登録にかけつける人たち



小金井会場ではなつかしいビリーバンバンも応援

腎バンク、アイバンク、骨髄バンクの登録を訴えました。その後、東腎協の会員、家族に東京都、ライオンズクラブも参加して上野公園を訪れた人々に、バンクへの登録を訴えました。ステージでは、αダンサーズのダンシングショー、ピエロバンドのバラエティショー、アイドル歌手西野妙子ミ

ニコンサートと盛りだくさんの催し物が行われました。熱心なファンが午前中から待っていたミニコンサートでは、合間に腎臓病や目のクイズを出すなど大変な盛り上がりでした。

同時にステージ横のテントでは、腎バンク、アイバンク、骨髄バンクの登録受付や、腎臓と目の無料医療相談も行われました。腎臓病の無料医療相談には虎の門病院の二人の先生があたりました。又上野病院の看護婦さん四人による血圧測定も行われ、医療相談には二十四人、血圧測定には三百三十六人が受診しました。ステージ前のパネル展示場では、腎臓病の解説を読む人や、子供に説明

をしている家族連れもありました。午後四時キャンペーンは終了しました。参加の会員の皆さん、大変ご苦労さまでした。(本間)

〈小金井会場〉

大成功だがいろいろ

反省も

小金井公園では当日、市民まつりが開かれていて、朝早くからたくさんの人出でにぎわっていました。

キャンペーン会場では大きなステージ、たくさんのお音響装置が並び、種々の音を出しながら調整をはじめていた。

私たちの仕事は、キャンペーンに配布する品物の袋詰作業で、東腎協三多摩地区から五十人位の人の応援で、朝早くからベルトコンベアのように能率的な作業で、千数百もの品物を数十分のうちに終わる。ご協力戴いた皆さん、ほんとうにありがとうございます。

食事時間になり、当番の弁当配りも終わり休憩時間となる。

午後一時になり、ステージの前にはたくさんのお客が集まり、主催者の東京都衛生局から石館技監

の挨拶があり、腎移植、角膜及び骨髄移植の必要性など、集った観衆に理解できるように話され、東腎協副会長長の竹田さんは、患者の立場から、その他数人の方々からの挨拶があった。

ステージでは次々と種目が変わり、私たちはキャンペーン用袋詰め品の品物を観衆の皆さんに手渡ししたが、数が少ないせいがあったという間になくなってしまった。

会場のテント内では、杏林大学病院の有村先生の無料医療相談、国分寺南口クリニックの看護婦さん二人の血圧測定などがあり、医療相談三人、血圧測定四十七人が気軽に診療を受けていた。

やがて時間も四時過ぎとなり、他の会場からの観衆も集まり、五百人を越す人数となり、ピリパーンの大合唱となり、広い小金井公園にこだました。

来年度の反省点として、一、キャンペーン配布品をもっと多く、二、ポスター看板の文字を大きく、三、公園内の場所をだれでも分かるように。また大成功に終わった今年のキャンペーンを胸にしめながら帰路についた。(吉田)

今後のキャンペーンは

昨年のキャンペーンは過去に見られない盛り上がりを見せました。会場での腎バンクへの登録、血圧測定など過去最高を記録しました。

しかし、イベントが大きくなって何をやっているのかわからない部分もあり、私たちの腎登録への訴えがすすんでしまっている傾向もみられます。

これからの活動としては家族登録、地区ごとのキャンペーンなど地道にドナーを増やす活動も同時に行う必要があるのではと感じています。(草間)

「臓器移植法」の

早期成立を要望

全腎協では昨年十月に開催した幹事会で移植を望む立場から「臓器移植法」案の早期成立をめざして、全国いっせいに、衆参国議員に要望書を提出することを決めました。

この決定を受けて東腎協では、常任幹事会においてその要望書の提出をどのような方法で行うかを検討しました。臓器移植立法の促

進めよう会員家族

へ腎バンク登録を

毎年実施される「腎移植推進キャンペーン」の運動の積み重ねや多くの善意で腎バンクへの登録者は確実に増えてつづけています。が、やっと全国で三十五万人(昨年八月末集計)を超えただけです。

全腎協では、登録者を増やす

ために五年前から毎年、会員の身近にいる家族の人への登録を訴えるチラシを作り、運動を進めています。(写真参照)

東腎協では、昨年十月に加盟患者会に連絡し、患者会として家族登録の取組みを進めています。すでに、幾つかの会から登録カードが送られてきています。が、もう一歩進んだ活動が必要



進を積極的に取り組むことから各議員に面会し、要望書を提出し説明を行うという意見もありました

が、東腎協としては、脳死、臓器移植について深い話し合いを進めていないことから各議員に説明等が

うまく出来ない問題、時間的に東京選出の全議員(五十二人)に面会が難しいことから、この行動については全議員に要望書を郵送で提出することになりました。

この要望書については、東腎協から昨年十一月九日に各議員に送付しましたが、内容については次のとおりです。

①臓器移植医療の普及のため、「脳死臨調」最終答申が指摘する法制化を含めた対策を早急に講じる。

②法制化の検討に当たって、「脳死臨調」が指摘する移植医療を適正に実施するための仕組みを確立する。

③移植医療の普及を阻む要因の一つである検視制度運用の見直し。



「国連・障害者の10年」の終わりに当たって

事務局長 森 義昭

「完全参加と平等」の実現をめざして、一九八三年(昭和五十六年)からはじまった「国連・障害者の10年」は、昨年(平成四年)で最終年を迎え、これを記念して、たくさんの方々が華々しく行われました。

その一つとして、障害者問題に対する理解の輪を広げることを目的に、「列島縦断キャラバン」が取り組まれました。

このキャンペーンは、キャラバンカーによって、昨年十月九日に北海道と沖縄を同時にスタートし、すべての都道府県を通過し、都道府県知事、市長等を表敬訪問しながら各地で障害者問題への理解を訴えてきました。

南北両キャラバン隊は十二月三日、最終目的地・東京に到着し、鈴木東京都知事を表敬訪問し、総理大臣等からのメッセージを手渡しました。

この訪問団には南回りの車長と

して滋賀県から乗り込んだ全腎協の小岡副会長と国民会議東京連絡会議のメンバーである東腎協の森事務局長も出席しました。

また、十二月七日には、最終年記念国民会議のテーマ別集会が開かれ、「障害の概念」「人権」「教育」「雇用・就労」など障害者対策として関心の高い、十一のテーマに分かれてそれぞれ活発な話し合いが行われました。東腎協からも役員六人が各テーマに分かれて参加しました。

新たな始まりの年

そして、翌八日には前日のテーマ別集会を総括するかたちで全体集会がもたれました。当日は激しい風雨の中、全国各地からの代表で会場の日比谷公会堂はいっぱいになりました。

全体集会では、「10年」のあゆみの成果とこれからの課題が、各障害者団体代表から報告提起さ

れ、最後に次の十年を「完全参加と平等」実現の仕上げの時期としたい、とのアピールを採択し終了しました。

午後からは、全体集会参加者を中心としたパレードが行われました。パレードは、横断幕、鼓笛隊を先頭に日比谷公園から数寄屋橋交差点、旧都庁第二庁舎跡地までの約一・五kmを約一時間かけて行進し、街頭の人々に障害者問題に対する理解と協力を呼びかけました。東腎協からも「テーマ別集会」「全体集会」「パレード」に述べ十二人が参加しました。

この十年、障害者問題についての国民の認識はかならずすみ、教育、雇用、年金、福祉などの法的な改善と進展が見られました。また、障害を持つ人自身の生き方にも大きな変化が生まれました。

しかし、障害を持つ人々の「完全参加と平等」の実現にはまだまだ遠い、というのが現実です。「国連・障害者の10年」はひとまず終わりますが、この終わりは、次の十年に向けた「新たな始まりの年」と位置づけて、「完全参加と平等」の実現に向け、運動をすすめていくことが必要です。

スタッツフ訪問

—よりよい透析を求めて—

「スタッツフ訪問」第四回目は、株式会社地域保健企画多摩薬局薬剤師 松崎久代さんを訪ね、透析患者の薬の服用についてお話をうかがいました。(金子)

安全で有効な薬物療法を

◆最初に薬剤師さんが毎日のような仕事をしているかお話を聞かせてください。

松崎 仕事の中心は、通常調剤業務で追われているのが現状です。患者さんから受けた処方箋を、配合変化、相互副作用など薬剤師の立場からチェックし、正確により速やかに調剤を行ない、患者さんに渡すことです。渡薬時には、さまざまな質問や相談を受けることも多くあります。

もちろん、調剤だけではなく常に安全で有効な薬物療法を追求していくことが薬剤師の任務だと思っています。ですから、渡薬時も

必要に応じて患者さんの経過を見ていけるようなシステムが作られています。

多摩薬局では、コンピュータですべての患者さん薬歴管理を行ない、いつでも薬に関する個別の情報がわかるようになっていきます。



多摩薬局で毎月出しているパンフ



さらに、週一回立川相互腎クリニックのカンファレンスにも参加しています。

◆腎疾患の患者さんは、どのような薬が処方されているのですか。松崎 透析患者さんでは、やはり電解質のバランスに関する薬が多いですね。

一番多いのはリンの吸着剤でしょう。アルミゲルの副作用が問題

薬の使用は慎重に

◆透析患者さんが薬を服用する場合どのようなことに注意が必要ですか。

松崎 ほとんどの薬は、服用後最終的に腎臓で排泄されることになっています。ですから、腎臓が正常に機能していない場合、一般的に言えば、投与料を減らす必要がある

になってからは、現在では、炭酸カルシウムが使われています。また、カルシウムの吸収の点から活性型ビタミンD剤も多く使用されています。

その他には、血圧を下げる降圧剤、腎性貧血のエリスロポエチン、カリウム吸着剤や血液凝固系に関する薬剤などがよく処方されています。

わけです。ただし、医師の指示のもとに服用している薬については、その指示を守って、きちんと服用することが大事です。

医師は、自分の処方した薬は正しく服用しているか思っていることも多いようですから。

一番困るのは、こっそり買って

多摩薬局

薬剤師

松崎 久代



松崎さんのことと話をしながらの薬局の窓口の様子

飲んでる薬です。知っておかないと、腎不全の人には思わぬ副作用をもたらすこともあるんです。いつも自分が服用している薬については、名前や副作用を覚えておき、ほかの薬を服用するときは併用して良いか確認する習慣をつけてほしいですね。

◆患者さんにどのようなことを望

みますか。

松崎 薬はたくさん飲めば効くというものではありません。逆に、飲み忘れが多く、指示どおり飲んでいないのに服用しているといつてみても、いずれ医師にはわかってしまうものです。

薬についてきちんと理解していただいて、正しく服用することが大事だとわかってもらえたらいい

と思っています。

少しでも不安や疑問があれば、医師か薬剤師に率直に相談できるという雰囲気が必要なのです。普段あまりに透析患者さんと接する機会が少なく、その点でも患者さんとの接点となる薬局の窓口業務が重要だと思っています。

薬局でも、何でも気軽に相談して見てください。

体験的5分間クッキング

☆水ギョウザ

*主な材料(二人前)

市販の冷凍ギョウザ一パック、白菜一四枚、調味料

*作り方

二、三センチにぎく切りした白菜と三カップの水を鍋に入れて、火にかけて、柔らかくなったところに冷凍のギョウザを加えてさらに三分ほど煮ます。

塩、こしょうで味をととのえ、火から下ろしぎわに、ゴマ油少々を落として香りをつけます。

白菜の代わりにチンゲン菜でもおいしくできますし、ニラを青味に加えても良いでしょう。

ギョウザから良い味が出て、おいしいスープになりますが、飲むのはほどほどに。

☆鮭ボール

*主な材料(二〜三人前)

鮭缶詰一個、木綿豆腐一丁、カタクリ粉、揚げ油

*作り方

水気を切った木綿豆腐に、缶詰の鮭の身を加え、手で良くつぶしながら混ぜ合わせます。大サジ一

杯のカタクリ粉を加えて、さらに良く混ぜたのち、大サジで掬い、形をととのえながら油の中に静かに落として揚げます。

油の温度は普通のでんぷらを揚げる程度。ボールはくずれやすいので、湯の中では、良く揚がるまであまり掻きまわさないようにしてください。

ボン酢醤油、大根おろしをいただきます。残ったボールはお吸い物の実にしてもおいしいものです。

栄養士から一言

◇水ギョウザ◇ 味の引き出し

方の難しい冷凍品を、皮の端や中身も適度なやわらかさになるよう工夫されたこの方法は、とてもよい冷凍品の生かし方と、思います。

◇鮭ボール◇ 豆腐と鮭は蛋白

質、Ca含有料の点でも栄養価の高い、しかも良い組み合わせだと思います。鮭の身をほぐすことにより、骨も気にせず食べられるのが、最後のポイントとなります。

(八木由紀子)

〈連載・その10〉

加藤 茂

私の雑記帳

初詣は京都に行く

新年を迎えた。今年の正月はど
ういう風に過ごそうかと家族で相
談したが、夏に出かけた京都に行
くことになった。一月一日、東京
駅八時二十四分発のひかりに乗
る。今度の旅行では、どこを見学
するか計画はゼロ。まあとにかく
初詣をしながら。まあとにかく
で、八坂神社へ行くことにした。

八坂神社は、混んでいた。しか
し、明治神宮ほどではない。賽銭
を投げて神妙にお祈りをして、お
みくじを引いた。次に知恩院、二
年坂、さんねん坂を通って清水寺
へ。人、人でいっぱいだった。

二日は、定期観光バスで伏見桃
山宇治を見て回った。城南宮―伏

見桃山城―万福寺―平等院―醍醐
寺三宝院というコースで、それぞ
れ説明をしてくれるのでよかつ
た。三日は、銀閣寺から哲学の道

を歩き、永観堂、平安神宮をみて
回った。哲学の道には、「人は人吾
はわれ也」とにかくに吾行く道を吾
は行なり 寸志」という西田幾多
郎の自筆の碑が建っている。疏水
の両側には桜の木が植えられ、夏
にはゲンジボタルが飛び交うとい
う哲学の道は、日本の道百選にも
選ばれている。

こうして京都の神社やお寺で所
構わず多くの願い事をしてきたの
だ。だから、今年はきつといいいこ
とが沢山あるだろう。

一年を振り返ってみるというこ
とは余り好きではないが、昨年は

私にとって爽り多い年だっただろ
う。全腎協と東腎協の二つの二十
年誌の編集委員としての仕事は、
やったなという感じだ。

森山アヤ子さんのこと

東腎協創立から数年経った発展
期にパートの事務局長として頼り
にされていた森山アヤ子さんは、
東腎協二十年誌「あゆみ」を読ん
だ感想を私に送ってくれた。

「あゆみ」を拝見しました。

「会長物語」を読んでとても「東
腎協」を懐かしく思い出しました。
当初から会に深くかかわってこら
れた加藤さんの心が暖かく伝わっ
てくるようなよい文章ですね。夢
にまで見られたという程の編集
に心をこめられた加藤さんの苦勞

が伝わって参ります。私が事務局
を手伝いはじめた頃に比べ医療面
の進歩と共に患者の意識も変わ
り、その反映が全体がとても明る
い感じの記念誌になりましたね。
表紙の色も見開きの記録写真もイ
ラストも、それから小泉さん一家
の話もよいですね。資料を少なく
まとめ、個人の記録を多くしたの
も全体の印象を暖かなものにした
のかも知れませんね。ほんとに長
い間、ご苦勞さまでした。

これを読んで二十九日出席す
る気持ちになりました。当日はよろ
しくお願ひします。皆さんに会え
るのを楽しみにしております。あ
だいぶ褒められ過ぎの感じもあ
るが、編集委員が一致して頑張っ
たからこそ、こんな評価もしてく
れたと感謝した。森山さんには、

私が「東腎協」の編集をしていた
時には随分協力していただき、そ
のことも忘れられない。十一月二
十九日、市ヶ谷の私学会館におい
て東腎協二十年記念パーティが
開かれ、私は森山さんと数年ぶり
で会ったのである。

20周年記念パーティ

この場で初代事務局長の堀江紀

●人は人吾はわれ也とにかくに吾行く道を吾は行なり―哲学の道で―



京都・銀閣寺

久雄さん、今でも非透析、というより健康体で頑張っている伊藤喜良さん、同じく健康体で東腎協の運動に役員として協力してくれた吉田修吾さんに会った。創立当時の役員という人は、残念だが何人もいなくなっているので、お互いに本当に懐かしい感じがした。

三代会長・宝生和男、四代会長・石川勇吉さんの奥さんもみえて談笑できたこともうれしかった。こうして東腎協と私ということで振り返ってみると、同じ病気というただ一つの共通点で知り会った多くの人との出会いが私という人間を形成してきたのかも知れない。私は、二十年経ってもいまだに非透析患者、というより健康者に近いといった方がよいかも知れない。貴重な財産としてこれからも大事にしていこう。

パーティでは、東腎協役員の方の委員会の紹介があった。二十年誌の編集委員会を代表して私も挨拶をさせられてしまったのだが、思ってもみないことを喋ってしまった。「三十年誌を出す時には、また私を呼んで下さい。ぜひ編集委員として参加したい」。編集委員一人ひとりが協力したから出来上

がったのに、それを言うのを忘れてしまった。後で、自分のことばかりしか言えなかったのが本当にアホだと思った。

二十年誌編集委員会は、案内案しくやれたな、と今でも懐かしく思える。会議が終わったら糸賀さんを筆頭にしてカラオケボックスに行った。青春時代に帰りたい、思いつき声を出して歌ったものだった。私は、カラオケボックスは初めてだったので、うーん、こんなストレス解消もあるもんだ、と納得したものだ。

パーティ後、全腎協の小林事務局長と喫茶店でしばらく話し合うことができた。小林さんとは、全腎協が結成される前からの闘病仲間である。しかも、全腎協の激務がたたったのか、このところ腎機能が下降線を描いている。あと数年で間違いなく透析に移るだろう、というのを聞いた。慢性腎炎の仲間として残念に思った。

東腎協二十周年、とにかく一区切りついたところだ。また新しいスタートも切った。私にできることを考えて共に歩んでいこう。

一九九三年 冬

(「東腎協」編集委員)

東醫協は昨年十一月に二十周年を迎えた。二十年誌「あゆみ」を読まれた方は感じたと思うが、二十年以上前に更生医療が適用される以前は透析にかかるとは大変なことであり、生き抜くことが第一だった。このコーナーでは今年の一年間、大変な時代を生き抜いてきた人々を紹介することになった。

会計事務所での日か独立して友人と事務所を持つことを目標に働く、透析歴二十年という明るい人なつこい好青年篠原栄一さん(三十八歳)にすぎ去つた日々を思い出しながらお話を伺った。

五歳の時急性腎炎に罹ったことはあるが高校一年で腎炎と診断された。食事療法で体は休む、時々検査で虎の門病院へ行くという

学生生活を送るうち高校三年になつた夏休み頃体がつかれやす、心臓が何かおかしく不整脈があるように思われ始めた。

もっとも食事療法はなかなかきびしく、タンパク質二〇g、カロリー二〇〇〇Kで常に貧血状態ではあつたが、検査の為虎の門病院へ行くと慢性腎炎が腎不全と病名が変わつてしまった。

高校だけは卒業しようと頑張つて来たので単位がとれていることを確認の上、都立大久保病院へつてを求めて入院した。

高校三年生の三学期の時であつた。

古い透析室で何人か透析をしていたが機械が少く入れてもらえる余裕がなく、腎センターの出来るのを待ち乍ら腹膜透析を丸一と月程続けて待った。

忘れぬ初代会長の言葉

心胸比七〇で心臓に水がたまり

一時あぶない時期があり、先生にいわれたのだから親戚の方々が病室を一杯にしたことがあつたと当時をしのんで「今日は見舞客が随分くるな」と思つていたと笑いながらポツリといわれた。

この時、隣のベッドに透析をしていた寺田さんとおつしやる人がいた。この人はこの年昭和四十七年(一九七二年)の秋、結成された東醫協の初代会長になられた人だった。その寺田さんにまだ学生の篠原さんは「社会復帰をかならずして下さい。退院なさつたら社会に還元することを考えなくてはいいませんよ」と社会に貢献するよう熱っぽく話をきかされたそう

だ。

現在前向きに頑張られるのはその時の寺田さんの言葉が心にしみついているからだと思いますと、一言一言かみしめるように話された。二カ月程の入院中は貧血もはげしく週一回の割で輸血をしていた。又薬物によるものだろうか肝臓も悪くした。

冬季オリンピックが日本で開催され笠谷・青地・金野が二位三位に輝いた年、四十七年四月十九日、出来上がった腎センターで

第一号か二号の透析導入をした。大久保病院の古い透析室で透析をしていた人達も全員腎センターに移つた。

二カ月程して退院し、それから一併当持参で東松山から新宿まで週二回の八時間透析、ヘマトクリットが低く、通院するのがとても苦しく大変だった。しばらく経つてから週三回の六時間透析に通つた。その頃になると機械も改善され貧血もよくなつてきた。

社会復帰最初の仕事は透析機械を作る工場のアルバイトであつた。

八時半頃より四時まで透析日以外の週三回の仕事であつたが、単純労働であり仕事に魅力を感じなかつたので一年程でやめてしまった。

かねがね検査技師になりたい思いがあつた。清瀬にある都立の心臓者の為の訓練所の様な全寮制の学校に臨床技師になる夢をみながら入学した。四カ月位経つた頃、肝炎が再発して大久保病院に三カ月入院した。退院後又入学し勉強始めて三月程したら又肝炎の再発で大久保病院へ後戻り。三カ月余

会員さん訪問

第48回

篠原栄一さん

何度も挫折を繰り返したが この手でつかんだ社会復帰

り入院して又再々入学するも、又
もや肝炎が再発してとうとうドク

ターストップがかり、学校でもほ
かの方面へ行くことを進められ

た。三度挑戦したが、いずれも挫
折、白衣を着て試験管をみる検査
技師の夢はむざんにも

こわされてしまった。
何か身につけなければ
ばというろさきがつて
みて簿記にぶつかっ
た。

早速簿記学校に入
学、二十五歳の春だっ
た。二級簿記の試験ま

ではほとんど合格し
たが、九時より十二時
まで簿記学校の受付で
アルバイト、それから
教室へかけつける生活

の為、一級試験はほとん
とんと行かず二回おち
て三回目の試験でやっ
と合格した。それも合
格点すれすれの七十点
であった。一級に合格
すると税理士試験の受
験資格が出来るのだそ

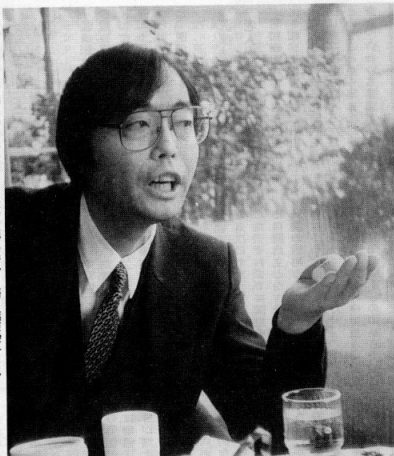
うだ。

今は大原簿記学校で税理士コー
スの勉強をしている。五科目中三
科目合格している。後二科目取ら
なければいけないが、仕事をしな
がらの受験なのでなかなか合格出
来ないのですと頭をひねりながら
一人言のようにいわれ、「税理士
試験は真夏に行われるので健康人
より汗の出が悪い貧血きみの透析
患者にとっては少々きびしい試験
なんですよ」と笑った。

働いている村松会計事務所には
昭和六一年から今日までお世話に
なり、バイクで飛び回っていると
のことである。

透析者がいざれ行く道である手
根管の手術は両手したのとこと、
今は肩が痛いし、膝も痛い、これ
からは車の方が楽くだら車にし
ようと思う、といわれた。

そして、最後に二十年も生きて
こられたのはいつも最先端の医療
及び技術のある透析施設でそして
医療スタッフをはじめ、諸先輩の良
き指導があつたと感謝しておりま
す。今の若い透析の人たちは元気
に仕事の出来る条件があります。
ぜひ社会復帰をめざしてがんばっ
てほしいと結ばれた。(井上)



透析医療をめぐる情勢

東腎協副会長 柳 光夫

医療法改正は昨年七月一日に一部施行され、東腎協では九月に緊急かつ重要課題として医療法改正と診療報酬改定について学習交流会を開きました。概要については井上編集委員が東腎協九十五号で報告しました。昨年十月二十一日に医療法政令・省令案が医療審議会で承認されたことから、学習交流会をもう一度振り返り柳副会長の講演「診療報酬改定」と「医療法」を考えるを掲載しました。

医療法改定の背景には 老人保健法が

昭和四十八年に老人医療が無料化され、そうした中で昭和五十六年に入って低成長時代を迎え、国は赤字国債をなんとか減らそうということから第二次臨時行政調査会、いわゆる臨調が制定された



豊富な資料で説明する柳さん

わけです。昭和五十八年の三次から五次にわたって答申が出されました。それまでは医療や福祉の中に自助自立とか、受益者負担とか民間の活用といったことは入っていなかったのですが、ここから概念が入ってきました。

私たちの運動の中で度々、会長や事務局長の話の中から受益者負担とか公費抑制という言葉が使われてきたと思うのですが、今回の診療報酬改定と医療法改正は、そういった我々の危惧が一つの形として表れてきた一つの事例であり、また、今後のこのような方向に進んでであろうということを目指しています。

昭和五十八年に老人保健法が改

定され、ここから有料化に入りました。老人保健法は今までは国会審議の中で老人医療の自己負担分が決められてきたのですけれども、今回の改定によつて今年（平成四年）からは外来で九百円、それから五年、六年は千円、それ以降は物価スライドに応じて自己負担分が増えてくるというように、国会の審議にかかわらず、スライドによつて変わっていくってしまいます。これはまさしく受益者負担の典型的な一つの例です。

ほかに民間保険の拡大など民間の福祉産業が導入されたことがありますが、結果的にそれはどういうことかという点、自己負担分を増やすことによつて、公的財政を抑制していくところというのが国の考え方です。第二臨調の解散後、俗に言う行革審、臨時行政改革推進審議会に移されて、その中から平成二年の六月に意見書が渡されています。それは老人保健制度の長期の安定を図るための老人保健法の改正案の早期実現、それから医療保険制度については、各制度の負担の適正化、公平化等の対策を推進するとともに、医療費適正化の強化、医療費支拂の改善等

を推進し、国民医療費の伸びを抑える必要がある、というようなこととです。

たった二日間で答申

診療報酬の問題点ということで話してみますと、まず、今回の診療報酬の改定というものは本来ならば、医療法の改正があった診療報酬の改定というように従っていただけです。今回は医療法の改正は国会に提出されてから、湾岸戦争の問題とかがあって、診療報酬によって形を先に作ってしまおう、要するに医療法改正の先取りを今回の診療報酬はやっているわけです。そして今年（平成四年）二月十二日に厚生省から諮問されて二月の十四日に諮問通りに中医学協（中央社会保険医療審議会）が答申してしまつた、たった二日間で答申してしまつたということとです。その問題には中医学協のなかの支払側の委員に我々支払側を代表している人たちが出ていないので、我々の意見がなかなか通らないことがあります。それから公開で行われたい。密室の中で行われてしまうので、分かつたときに遅いという状況があります。

今回の診療報酬改定で我々透析患者には慢性維持透析患者の医学管理料が二千五百点で定額化され、いわゆる定額性が導入された大きな問題があります。老人病院の場合は平成二年に導入されて、厚生省の考え方によれば、今まで老人病院の中で定額性の話しを出せばだれも見向きもしなかった。ところが今は定額化の話しをして

透析は無料で出来ているが中味が変わってきている

もそれをだめだという人はだれもいないというように定額化そのものが当たり前だというふうなふうな持ってきています。

老人医療に二年前、定額化が導入されて、今回の診療報酬の改定でさらに拡大されています。それで今回透析患者の人工透析の中に

紹介率30%、一般外来が削減の恐れ

医療法政省令を
医療審議会が答申

問題となっていた特定機能病
院の紹介率(初診患者に占める
紹介患者の比率)については一
応の基準を三〇%に置くこと
となりました。現在三〇%を下回
る病院も五年間で一〇%高める
計画を厚生大臣に提出すれば申
請できることになりました。対
象となる病院はすべての大学病
院と国立循環器センター及び癌
センターの八十三病院です。現
在、大学病院の平均紹介率は一
五%程度なので、一般外来が削
減される恐れがあり、難病患者

が駆け込む場合、支障が出るこ
とが懸念されます。

療養型病床群は柳副会長の講
演のとおり、人員配置基準は医
師数は現行の特例許可病院程
度、看護婦、准看護婦は、入院
患者六人に一人の配置で特例許
可病院と同じとなりました。今
後、中医協で審議される診療報
酬の行方に注目する必要がある
です。講演で示されているよう
に診療所についても大きく変え
られる可能性があります。

考)

(全腎協今月の情報十月号参

は定額化が入ってきてはいませ
けれども、医学管理料に定額化が
はいつてきたということは、結果
的にはそこにも今後、なしくずし
に入ってくる危険性が十分あると
いうことです。

人工透析の診療報酬点数の変遷
と医療・福祉に関する動き(18)
19頁の表)これは昭和四十二年
に健康保険本人が保険適用になっ
てから、どのように変わってきた
ということを統計的にとってみた
のですけれども、昭和四十九年ま
では診療報酬は診療報酬が上がれ
ば透析治療も上がっていったわけ
です。その時まで外来透析で年間
一千万円かかっていました。

昭和五十三年の診療報酬の改正
からは一般の診療報酬は上がりま
したけれども透析だけは下がって
います。その後年々下がっている
わけです。これはどういうことか
という点腎不全患者、いわゆる透
析患者の増加する分を診療報酬の
切り下げで、全体の伸びを押さえ
ていこうということです。大体五
時間とダイヤライザーが一・五平
方米・二平方米のところを基準に

して書いてありますが、六十年三
月からは一八〇〇点となっていま
すが、これからは四時間以上、以
下、五時間未満、以上です。五十
六年から年間の外来透析患者の伸
びから透析医療費が年六〇〇万と
落ちこんでいったのです。

この時にどういふのが起きた
かといえますと、十ベッドぐらい
の非常に小規模な病院は透析医療
が維持出来なくなつて、たしか病
院にいったところがあつたと思
います。それ以外のところは病院
のチェーン店化が始まつたところ
もありました。経営者と院長が違
う、そして大病院化、透析患者の
三クロー化、出来るだけ透析患者
を効率良く運用していこうとい
う方向へどんどん変わっていきま
した。それまで十分なケアも含め
た透析医療が出来たのが、段々、
機械的に透析医療をやるような形
に変わっていったのです。

六十一年の診療報酬の改定で
は、外来透析で年間の透析医療費
が五百万円という状況で六十一年
から平成四年まで、診療報酬その
ものは上がっていますけれども、

透析に関しては、このように我々は気がつかない、無料で、ほとんど気がつかない状態であるわけですから、中味は非常に変わってきています。看護婦が足りないという問題だけではなくて、医療スタッフが足りなくなっている状況のなかで、透析の診療報酬の中で経営出来ない状況が生まれつつあるということもスタッフ不足の要因になっていると、このことをこれを見ることによって想像することが出来るだろうと思います。

そして国は一方では何をやっていくかといいますと、在宅医療の推進を図っていくということですが、在宅医療の推進の二つとしてCAPDの推進、CAPDは保険点数が三、五〇〇点一、八〇〇点上がりました。それから移植の推進をやろうとしています。移植は四五、〇〇〇点から一六八、〇〇〇点と約一・五倍ぐらい診療報酬が上がっています。このように国の一つの考え方として透析医療は、これは綿貫幹事長の発言にそのへんが多分に含まれていると思います。非常に金がかかる。それを打開するためには在宅医療のためにCAPDの方へ移行させ

る。そういうことによって医療費を削減させていこうという考え方がここに現えてくるというわけです。

これが透析医療にどんな危惧を及ぼすかということ考えた場合には、まず第一点としては先程言いました人工腎臓の定額制が導入される危険性が十分にあるということですから、それから国は在宅医療を推進している中で、我々は今、患者の意志によって透析、CAPD、それから移植というものが選ぶことが出来ます。そういう選択権が奪われてくる危険性があるのではないかというような危惧が生じてくるわけです。これは私たちの今後の運動の中の大きな要因だろうというふうに思います。

医療法の概要

今までは一般の患者は風邪を引いたとかおながいたいとかいって大病院へ通うとかいうようなことがありました。そういうような患者さんは診療所へいきなさい、それから急性期の患者さんは一般病院へいきなさい。高度な医療の必要な患者さんは特定機能病院にいきなさい、それから長期入

院が必要な患者は一般病院の療養病床群へ誘導するというのが今回の医療法改正の大まかな概要です。

療養型病床群というのは、この老人病院と全く同じわけです。大病院の本院、国立癌センター、循環器センターなどは特定機能病院で、病床が五〇〇床以上で、大医師の数は一〇〇床あたり十五人から二十人、看護婦が一〇〇床あたり四十人程度で、厚生大臣が承認しています。一般病院との比較をしても医師の数も看護婦の数も大きく違うということがわかると思います。

それから療養型病床群というのは都道府県の知事が承認し、一般病院の一部または全部を療養型病床群とするというふうになっています。医師は特例許可老人病院程度で一〇〇人に三人程度、看護婦、看護職員は患者六人に一人程度というところで、今、医療審議会に図つていまして十月までに終了するということです。ただ大病院が当初、紹介制を五〇％というようなことで動いていたわけですから、五〇％というふうなことではほとんど大病院が反対してい

まして、結果的には一〇―一五％になる可能性があります。

我々も病気にことにか

十分知識をもつて

第二次医療法改正による問題点は、まず特定機能病院が予約制になるということ、療養型病床群は年齢に関係なく病気が安定した患者の病棟というところ、一般病床から療養型病床への移行というのは医師の判断によるわけです。そういうことになると我々が病気のことを良く知っていないで、医者の方で「はい、わかりました」というようなわけにはいかないということですね。我々も病気のことに十分知識を持って、今、言われているインフォームド・コンセント、説明と同意というふうに訳されていますけれども、十分に説明を受けて同意をするだけの知識を我々は持たなければいけないということがここで言えると思います。

それから六十年に行われた医療計画というのは、いわゆる全国の医療を一つの医療圏にわけて、その中でその病床数を決めて、それからはみでた分はなくてはならない

しまおうという考え方です。それで東京では十三医療圏に分けられていて、この中で今年(平成四年)の白書によれば十三医療圏のうち七医療圏が過剰医療圏といわれています。そうすると過剰医療圏の中の病院の質、いわゆるスタッフ数の悪いところは国から指導をいれて、老人病院に下げ、老人病院でありながら、まだスタッフ数が揃わないところは保健施設にしていこうというようにすることで、全体の今、全国で一六〇万床以上ある病院のベッド数を一一六万床にして、精神病院と結核病床は別に減らしていこうということが国の政策として今、進められているわけです。

我々はいっ、どういう状態で、今後、合併症などで入院していくかわからないですね。そういう中でどちらかという長期入院は療養型病床群のほうに入院されてしまう。療養型病床群というのは、医師が患者一〇〇人に対して三人ですから、我々のような難病といわれる不安定な病人が、そういったところでいいか、医療が低下した中にいれられていいかというような問題が発生すること、それから

ら今は十九床以下の診療所は認められているわけですね。

それが今後の医療法改正の中で、有床診療所が廃止されるといことは厚生省の考え方です。有床診療所というのは我々、日常不安定な透析患者がそこに入院施設があるだけでも安心感があるのですが、そういったものがなくなってしまうということが、非常に我々透析患者として大きな影響が出ているのではないかとこのように危惧しています。そういったことが今回の診療報酬改定と医療法改正によって我々透析患者が及ぼす影響というものもを考えてみたわけですね。と同時に問題を提起してみました。

班別

デイスカヨツン

医療法は判りづらいいか

これからが心配

第一グループは参加者十一名で、まず自己紹介から始めた。

参加者の透析歴は短い人で六年から、長い人で二十年であった。

次に柳副会長の「透析医療をめぐる情勢」の問題提起について意見・感想を述べ合った。主な意見・感想は①判るところと判らないところがある②ページを追うのが精一杯だった③医療法が判りづら④流れの方向は判った⑤病院との関係がどうなるのか心配だ⑥しわ寄せが患者にこないか⑦身近なところで四月以降は検査が二週間に一回に減った、というようなものだった。

これらの話し合いを受けて、それではどうしたら良いだろうかという意見を求めたところ次のおりであった。①透析患者も年をとってきて、要介護の患者のために施設が必要になるのではないか②今日出席している我々だけが判っただけではだめではないか③判りやすいピラやチラシを作って各会に配ったら良いのではないか④透析に入らないですむような施策をもっとやるべきだというものだった。

(泉山)

たいせつな現状認識

昨年四月から改定された血液検査料の結果について内容に変化があったかを伺ったところ、三つの

施設で変化があり、検査項目が減ったり、なかには透析後の検査を以前からやっていたくない施設があり、今後各施設での検査の回数、項目の内容等について注目しなければ、今後順次改定が繰り返されることのないように運動を展開しなければならぬ。

東腎協の上期の会員増加が、殆どなく、その原因は、昨年度いくつかの患者会の活動の低迷によるもので、東京の患者数一二、〇〇〇余に対し四四%の加入率となり、会員拡大について、今後どう取り組むかを検討する必要があるのではないかと。

従って、今日のテーマの透析医療を巡る情勢は現実の問題として非常に厳しい段階に入っていることを十分理解し、こうして医療行政に対して、患者団体として組織の拡大を計る事が、いかに必要であるか。そのためには各患者会の活動をより活性化し、特に、最近の医療費に拘わる問題など、揺れ動く現状を認識することが、今後必要になり、且つ、会員拡大を行い組織の強化を計らなければならぬ。

(中田)

透析医療をめぐる情勢

「診療報酬改定」と「医療法改正」を考える。

人工腎臓の診療報酬点数の変遷と医療・福祉に関する動き
人工腎臓が昭和42年12月健康保険本人に適用されてからの変遷の一覧表

	診療報酬	人工腎臓 1回に付	特定治療材料	加	算	医療・福祉に関する動き	摘	要	透析患者 数の推移
S42-12		920点	都道府県購入価格			本人10割・家族5割・国保7割	透析医療費年1000万円		215人
S43-4		1540点	都道府県購入価格			本人10割・家族5割・国保7割 更生(育成)医療適用	透析医療費年1000万円 自己負担分公費負担		
S47-2	13.7%					老人医療費支給制度 家族給付率7割	老人医療の無料化 高額療養費3万円		3631人
S48-1						本人10割・家族7割・国保7割	透析医療費年1000万円		
S49-10	16.0%	2150点	都道府県購入価格			健保改正初診料200円+800円、入院時1日680円+2000円	高額療養費3.5万円 入院時1日680円+2000円		9245人
S51-8							透析医療費年800万円		
S53-1							透析医療費年800万円		
S53-2	9.6%	4000点	(透析料を含む)	夜間	150点				27048人
S56-3						家族入院8割・初診料800円、入院時1日500円			
						第2次臨時行政調査会発足			
	8.1%	2000点 (5時間)	9300円(1個当たり) (1.5 ^分 -2.0 ^分)	夜間 食事	400点 50点		透析医療費年600万円		
						第2次臨時第1次答申			42223人
							高額療養費5.1万円		
S57-4						第2次臨時第3次答申			
						老人保険法成立			
						老人保険法実施 外来月400円、入院1日300円			
S58-2	0.3%	2000点	8300円(1個当たり)	夜間	400食事50	第2次臨時第5次答申			53017人
S59-3	2.8%					在宅CAPDに保険適要			
S60-3	3.3%	1800点	7900円(1個当たり)	夜間	400 食事50	健保本人9割(本則8割)	長期高額医療額1万円		66310人

のたまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの随筆記、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽にかいて事務局へ送って下さい

健康が戻ってきた喜び

透析六カ月 亀井 ミツエ

私は、十四年腎臓病で国立病院に通院し、毎月のように尿と血液を検査をし、血圧の薬を頂いておりました。この間六十年に難病の指定も受けましたが、日増しに体力が無くなり、足も腫み辛い日が続きました。そして昨年の八月にカリウム「七」になり貧血もひどく食事療法を始めましたが、とうとう一月に直ぐに透析と判定が下り、遂に一番恐れていた事が現実となり、急に食欲も睡眠もとれなくなり、不安感が大きく全身をおおい苦しみました。そして数日が立つてだんだん体がだるく歩く事すら思うようにいかず自分でもどうしようもなくなり、思い切つて知人の紹介で現在の新小岩クリニクにまいりました。院長先生や婦長さんが、私をだきかかえるようにしてレントゲンを取り診察して下さいました。その結果、胸に水が溜

つていたので直ぐに透析をしてなくても、少し様子を見ましようといわれ二週間に一度の通院となり「ホッ」としましたが、それから四月の検査の結果、いよいよ透析しなければ生きられないといわれ、三井記念病院にて五月十五日開始となりました。恐しきと不安で私にとっては地獄のような日が続き夜も眠れず毎晩、薬を頂いて眠りにつきました。沢山の検査も無事通過し二十五日間退院となり、六月九日より、新小岩クリニクに戻り、週三四時間の透析を受けられています。

この間六カ月は私にとって初めての体験だけにいろいろ困難がありました。過ぎたものと当初思っていた恐しさ不安より何より、今健康が戻つて来た喜びの方が何倍も大きく大変嬉しく思っています。思い起こすとよいよという時に西尾院長先生が、色いろと励まして下さいました。が耳に入らず、ただ一言、絶対元氣になりますよ」とやさしく言われた事や、目黒婦

長さんに「心配な事があったらいつでも電話して下さい。相談にのりましょう」とそっと名刺を渡して下さいました。どれだけ私は心強かったことか？ 今思い出すと涙が出て来ます。又このクリニクに従事されている看護婦さんやスタッフの方々皆さん親切で人間的にもすばらしい方ばかりで、私は信頼して通つてこれるのも喜びのひとつです。

先日、東醫協の二十年の「あゆみ」を読ませて頂き、緒先輩の体験や活動に対し深く感謝せずにはいられません。今、この恵まれた環境で透析が導入出来たということ、は、なんと幸せな事でしょう。皆さん透析を嫌やがって自分が一番不幸な人間と思つていた事が恥かしくさえ思いました。まだまだ始まったばかりで何も分かりませんが、「生かして頂いている喜びをかみしめ乍ら微力では有りますが、一人でも多くの人に生きる喜びと希望を与えてあげられるような人生を歩いてまいりたい

頑張ろう

須田クニツク 白井 次郎

透析を始めた時、看護婦さんがベッドに入る前に、んがんばつてネ」と声をかけてくれたが、最初はなぜこんな言葉をかけてくれるのか不審に思つていった。

成程透析は辛い。穿針のとき調子よく行けばいいのだが悪くすると激痛、そして皮下に出血とトラブルが起る。面白いもので外国の人は痛いの弱くて、(誰でもそうだけれど)ホルルの病院では麻酔薬を穿針の前にはやってくれるから楽だった。金沢市の浅野川総合病院では、麻酔しますか」と看護婦さんが聞いてくれた。大分前、以前通

院していた病院で穿針がうま
く行かなくて激痛の連続なの
で麻酔をしてと頼んだが、ナ
ンのカンノと言って、やって
くれなかった。

よく脚が吊った。なにかの
時に少し動かすとビィッと痛
くなり出す、その痛いこと、
少々手当はしてくれしたがナカ
ナカ納まさない。家へ帰っ
てから夜中の十一時頃始まる
と夜員から立ち上がる様だっ

12/19 読売
(9)



ほ

◇「あゆみ—東腎協の20年—」
東京都腎臓病患者連絡協議会
会員数200人でスタートした
慢性腎(じん)臓病患者の組織
が平成4年で結成20周年を迎え
た。現在は5000人を数え、その
9割が人工透析を受けている。
この人たちがインタビューや手
記を通して、闘病の苦しみや頑
張りなどを、力強く表現してい
る。慢性疾患のハンディキャッ
プを背負いながら日々を精一杯
生ききる姿に感動させられる。
末の年表を見ると、この分野
での日本の動きがわかる。
東京都腎臓病患者連絡協議
会 ☎03・3985・7990 刊、
1000円。

た。次に身体中が痒くなる。
これも実に始末が悪かった。
痒さはかなり長かったが何
時の間にかどこかへ行つて仕
舞い、最近足が吊ることも
ない。消化の神様は人間の頭
脳を上手に作つて下さつて辛
いことは忘れる様にできてい
て辛かつたのが嘘の様だ。
血圧もおカシナもので、上
が百二十位になった時、病院
で夕飯を食べ出すとたちまち

脳血管となって食べる所では
なかった。二度目のシャント
オペの際は、不安と痛さで二
百をオーバーしたこともあっ
た。現在は百二十の時に食事
をしてもなんでもない。
とに角、透析後の倦怠感
は新宿から田無の家までタク
シーであった。気分が最適な
のに連ちゃんがラジオの野球
放送を聞いて、上ずつたアナ

20年誌「あゆみ」 読売新聞で紹介

「あゆみ」が読売新聞で紹介
され、全国各地から注文が
ありました。読まれた方々か
ら昔、透析が有料の時代は大
変だったことがわかって良か
つたなど感想が寄せられてい
ます。

すでに東腎協の全会員には
「あゆみ」をお届けしていま
すが、購読を希望される方は
事務局まで連絡下さい。
東腎協事務局
☎〇三一九八五—七九九〇

ウンスの声が実に嫌で、ラジオ
オを消してと頼んだら、聞
いているンダッ、と言う言葉
が返って来たこともあった。
次は荻窪まで地下鉄、ここか
らタクシーとなり、いまは西
武電車でタクシーは乗らない
が、考えて見れば高いタクシ
ー代を払つたことになる。
「お疲れサマー」という看
護婦さんの言葉がよく分かっ
たことであつた。

越前の永平寺を開山した禅
の高僧、道元が食を大切にし
そして合理化して「典座教訓」
(てんざきょうくん)を作つ
た。これは現在でも永平寺に
受継がれているが、分り易く
言えば台所と食生活のテキス
トだ。いま食生活が誤つて子
どもに成人病があると言う。
誰でもそうだけれど私たちの
食は特に注意が必要だ。
下町の言葉らしいが、シャ
ーナイ(仕様が無い)と言
うが私だけの解釈では、ショ
ーガナイで塩がないとの意
と違う。石川県地方の方言で
不味いことを、ッシヨモナイ、
と言う、塩味が無いと言う
ことで、塩気のない物はどき
も載けないし、塩は味を大き
く左右する。ところが私たち
にとっては塩は大敵だ。でも
やはり塩気のないのはどうも
困る。私はいま特に塩分は気
にしないで家人と同じ物で、
毎日昼は外食(ウチにいた所
で女房が特に料理してくれる
訳じゃない)。透析した夜は
ヤケに空腹を感じて明日はな
にを食べようかと考える。

透析を始めてから約十年、
七年間位は週二回だったが
クレアチンが高いから
とDRに言われて二回
と三回になったが、悪癖がつ
いて三回なら少々余計飲ん
でもいいやとなつて二回の週
は苦勞する。僅かに機能が残
っている。右の方の腎臓が透
析にスッカリオンブして仕舞
うが金曜あたりから、ッジャ
ー少し働くか、と少量の尿を作
る。又、意地の悪いもので週
二回の時になにかの飲み会が
あって好きな方だからツイ飲
む。その後は当然お返しがあ
つて、計量器の指針をどれだ
け増えたかナと見る。

なつかしい顔があちこちに

東腎協20周年記念祝賀パーティー

朝方の雨も晴れ渡り、歩道に枯葉が二三枚残っているさわやかな晩秋、一九九二年十一月二十九日(日)、東腎協の二十周年を内輪で祝う会が開催されました。

朝方の雨も晴れ渡り、歩道に枯葉が二三枚残っているさわやかな晩秋、一九九二年十一月二十九日(日)、東腎協の二十周年を内輪で祝う会が開催されました。

朝方の雨も晴れ渡り、歩道に枯葉が二三枚残っているさわやかな晩秋、一九九二年十一月二十九日(日)、東腎協の二十周年を内輪で祝う会が開催されました。



初期の活動を支えた役員、事務局員、会長夫人



大活躍の猫勳進

参加者が到着し始め受付は名札を渡し、参加費を受取るのに大わらわでした。そ

会の進行は担当幹事が担当しました。内部的な催しであつたので、来賓の方々も患者会に限り、非常に身内的な親近感のあふれる会合となりました。

食事は立食でしたので、各々、好みのものをとり分け、思い思いで楽しみました。思いついたタイムでは昔の会長夫人始め、東腎協に尽力していただいた内部の方々の声を聞くことができ、参加者も感銘を受けたようです。

最後は日本的な三七七拍子の手締めをもって、締めくくり、三十年記念を目指して散会しました。(木村)

表紙のことは

東腎協の各委員会のメンバー紹介では各常任幹事が何らかの委員会に所属して実践員として活躍している様子が見え明らかになりました。また、思いがけなく二十年以上透析の会員に記念品が贈られて七人の古強者が喜びました。アトラクションには竹田常任幹事の隠し技ともいうべきマジックを皮切りに「猫勳進」の素晴らしい演奏がありました。猫勳進の菊地さんはご自身も患者会員ですが、昨年、元気にアロの技を聞かせてくれました。最初から最後までバックミュージックを流して、実に会の盛り上がりを買献してくれました。

最後は日本のな三七七拍子の手締めをもって、締めくくり、三十年記念を目指して散会しました。(木村)

くじの抽選では場内が湧き、会員結婚の柳沢夫妻に当り運がつかしました。そうこう

(本間)

私のふるさと

⑤

茨城県那珂郡

東和病院腎友会 石川 みさ



私は茨城県那珂郡大宮町で生まれました。場所は県の北部に位置し、奥久慈郷の入口です。町内にはガンマフィールドという放射線

育種の所があります。花や果物、お米などの品種改良をする所です。茨城の絹ヒカリというお米はここで作られたものだそうです。

関東の嵐山といわれている御前山。これは京都の嵐山と景色がそっくりです。日本三名瀑の一つ袋田の滝があります。別名四度の滝とも言われています。滝が四段になっているから、または、春夏秋冬四季折々見なければこの滝の本当の良さは、わからないと言う所から来ている名前だそうです。町起こして新たに温泉が出たので町中が

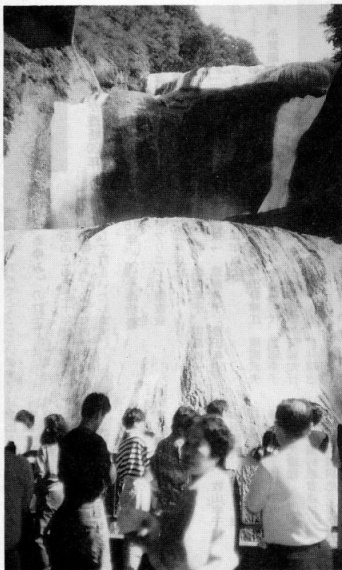
にぎわっています。現在町営の温泉を拡張しています。

「西山荘」これはテレビの水戸黄門でお馴染の水戸光圀の隠居所です。屋根は萱葺で情緒があります。庭の池は心という字の形になっています。静かな山里の中にあって一度は行って見ても良い所ではないかと思えます。

私はこの市(太田市)のお店で昼間働き、夜は専門学校へ行ききました。西山荘にも良く配達に行っていたものでした。昔は入場料は無料でしたが今は法人になって有料になってしまいました。

家の近くを流れる久慈川のアユも美味です。子供の頃はこの川で良く泳ぎました。滝も西山荘も車で二十三分の所ですが、今では観光地になってしまい、ずい分混雑する様になって休日などはなかなか行けなくなってしまいました。

去年十一月の東部ブロックのバス旅行でも、滝までは行けず本当に残念でした。機会がありましたらまた、ぜひ皆様とごいっしょに行きたいと思えます。今年もお互いに体を付けて頑張ってくださいませよう。



観光客でにぎわう袋田の滝

